

歯科衛生士のための エックス線写真のはなし

～エックス線写真を読む・ 考える活用する～

医療現場において、エックス線写真を使つての検査はとても重要なものです。疾患を目視や触診で大まかに把握できても、目に見えない場所の詳細を確認することはできないからです。う蝕や歯周病は、歯の内部や支持組織など、目に見えない場所に病変が存在する疾患であり、歯科医療現場では特に欠かすことができません。歯科衛生士の臨床でも、予防やメンテナンスに、エックス線写真はとても大切な資料です。

本セミナーでは、歯科衛生士が必要なエックス線写真についての知識、読影の仕方や活用ポイントなど、明日からすぐに役に立つ学びをお届けします。

- ここがポイント!**
- ①歯のかたちを理解しておく。
 - ②口腔内とエックス線写真
 - ③歯科衛生士のエックス線写真活用のポイント

略歴

1991年 新東京歯科衛生士学校卒業
1991年 医療法人社団仁慈会(現・テクノポートデンタルクリニック)勤務(～現在)
1994年 新東京歯科衛生士学校 非常勤講師(～1997年)
2004年 スウェーデンイエテボリ大学 歯科衛生士セミナー受講
2006年 日本歯周病学会認定歯科衛生士
2008年 岡山高等歯科衛生専門学院 非常勤講師
2015年 日本医療機器学会第2種滅菌技士



講師:青木薫先生

6/11 FRY
20:00～22:00

ご自宅や診療所で皆さんで聴ける!

7/11まで録画視聴できます。

zoomLive配信!

受講料

歯科衛生士 4,500円(税込)

歯科衛生学科学学生 1,000円(税込)



お申込みはこちらのQRコードからもできます。

ご勤務先

お名前

mail

お申込み先



株式会社

協立医療

企画・運営



株式会社ジェイ.マッチ